



## PRESS RELEASE

報道関係各位

2026 年 1 月 21 日  
BYD JAPAN 株式会社

### 2025 年の総輸出台数は 4,234 台、世界シェア 24% を獲得 BYD、電気バス輸出で 3 年連続世界 No.1 を達成 日本導入から 10 年で累計納車台数 500 台突破へ

- 2025 年、BYD 製電気バスの輸出台数は 4,234 台に達し、世界市場シェア 24% を獲得。EV バス輸出では 3 年連続世界 No.1 達成。
- 日本市場では BYD 製電気バス導入 10 周年を迎え、累計納車台数が 500 台を突破
- 欧州市場では累計 5,000 台目となる BYD 製電気バスをデンマークにて納車



EV バス輸出において、3 年連続で世界 No.1 を達成

<2026 年 1 月：中国・深圳発>

中国客車統計情報網の最新データによると、2025 年、BYD 製電気バス（以下：EV バス）の輸出台数が 4,234 台（前年比 18.2% 増）に達し、市場シェア 24% を記録。輸出された EV バスの 4 台に 1 台が BYD 製の EV バスとなりました。

1 年間に 4,200 台を超える EV バスを輸出した企業は BYD のみ<sup>※1</sup>であり、輸出台数・市場シェアの分野で BYD は、3 年連続で世界 No.1<sup>※1</sup> となりました。

※1 中国客車統計情報網 2026 年 1 月調査



最新の第三世代 EV バス専用プラットフォーム「e-BUS Platform 3.0」

## ■ 最新の第三世代 EV バス専用プラットフォーム「e-BUS Platform 3.0」

BYD は、EV バスの技術分野でも大きく前進しています。2025 年 9 月 16 日には、中国・杭州で最新の第三世代 EV バス専用プラットフォーム「e-BUS Platform 3.0」を世界初公開し、商用車分野における電気バスの可能性をさらに拡大しました。このもっとも新しい「e-BUS Platform 3.0」は、世界初の量産型 1000V 高電圧アーキテクチャ（駆動系、充電・配電、空調システムなどもすべて 1000V 対応）※2 にする大きな反響を呼びました。このように BYD は、今後も高性能、高効率な EV バスの供給を通じて、世界各地の持続可能な公共交通の発展に貢献していきます。

※2 高電圧アーキテクチャは、各エリアによって電圧、充電機器などの仕様が異なります

## ■ 2025 年、日本市場への BYD 製電気バス導入 10 周年、累計納車台数も 500 台を突破

2025 年、日本市場では BYD 製 EV バスの導入から 10 周年の節目の年を迎えました。これを記念して、日本の BYD 商用車部門は同年 10 月に開催された Japan Mobility Show 2025 に初出展し、これまでの歩みと実績に加え、最新技術を広く紹介しました。2025 年度末時点での日本市場における累計導入台数は 503 台に達し、国内 EV バス分野での市場シェアは、約 6 割を占めています。近年では、路線バスやコミュニティ・バスでの利用に加え、大学の送迎用といった自家用用途にも需要が広がり、BYD 製 EV バスを活用するシーンも多様化が進んでいます。また、すでに BYD 製 EV バスを導入されているお客様からの追加導入も増加傾向にあるなど、長期運用を前提とした BYD 製バスの高い品質と耐久性、サービス体制など広範囲にわたる評価も高まっています。

## 日本市場での 2025 年の主な導入事例

- 静岡県：遠州鉄道株式会社様  
県内初となる BYD 製大型 EV バス「K8」を導入。
- 東京都：関東バス株式会社様  
武蔵野市のコミュニティ・バスである「ムーバス 30 周年記念事業」として、小型路線バス規格の同「J6」を導入。
- 大阪府：龍谷大学様  
大阪ガスオートサービス株式会社が、大学送迎用として「K8」を導入。  
BYD としては初となる自家用用途としての導入。



BYD JAPAN の商用車事業 10 周年の節目に、Japan Mobility Show 2025 に初出展

### ■ 欧州市場：複数国で BYD 製 EV バスの導入が進展

欧州市場では、英国、ドイツ、ベルギー、イタリア、スウェーデン、ノルウェーなどで BYD 製 EV バスの導入が進んでいます。ドイツでは市場シェアの 15% を獲得し、BYD 製 EV バスは、中国ブランドとしてトップクラスの実績を達成しました。また、デンマークでは記念すべき 5,000 台目の BYD 製 EV バスを納入しました。

### ■ アジア太平洋・南米市場での展開

アジア太平洋地域では、日本、シンガポール、韓国、インドなどでも BYD 製 EV バスの導入が進んでいます。現在、シンガポールでは 300 台以上が運行中で、60% を超える市場シェアを占めています。南米市場では、コロンビア、ブラジル、チリ、ウルグアイなどで BYD 製 EV バスが運行されており、コロンビアでは累計 1,500 台以上、97% の市場シェアを獲得しています。

### 【BYD（比亞迪/BYD Company Limited）について】

1994 年に充電式バッテリーメーカーとして設立。現在は自動車、軌道交通、新エネルギー、エレクトロニクスの 4 事業を展開し、世界 6 大陸・110 以上の国と地域・400 以上の都市でゼロエミッションエネルギーソリューションを提供。香港と深圳証券取引所に上場、フォーチュン・グローバル 500 企業。詳しくは <https://www.bydglobal.com> をご覧ください。

【参考資料】本資料は BYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。

本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026 年 1 月 21 日（水）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

### 本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>

#### 報道関係お問い合わせ

BYD Japan Group 広報部 担当：池畑・呉・張・倉持  
Tel：045-620-9788 / Fax：045-624-8271 / Email：[japanpr@byd.com](mailto:japanpr@byd.com)